TOSHIBA

東芝テック（株）静岡事業所（大仁）　サイトレポート情報

所在地　：　静岡県伊豆の国市大仁５７０

敷地面積：55,066m²、建家総面積：53,552m²、緑化率15.03%

設立　：1950年2月、従業員：714人（関係会社常駐含む）（2024年4月現在）

主要製品：POSｼｽﾃﾑ、電子ﾚｼﾞｽﾀｰ　等

ISO14001認証取得：1997年6月、最新更新年月：2024年1月
（ISO認証番号：JQA－EM6903）

ごあいさつ

当静岡事業所大仁サイトは 、自然豊かな伊豆半島に位置し、富士・箱根・天城の山々を仰ぎ、狩野川の清流と緑豊かな自然環境に恵まれた立地条件の中で事業を行っています。

事業所では、POSシステム、電子レジスターなどの流通情報システム機器の開発・製造・サービスを行っており、これらによる環境に対する影響を低減するため環境保全活動を推進しています。

環境保全担当責任者　田中秀幸

２０２３年度の環境の主な取組み

☆ISO14001環境マネジメントシステム
1997年6月に認証取得、2012年4月からIMSとして活動
2022年11月に定期審査実施、「登録されているﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑについて、システムが維持されている」と評価。
2023年11月に更新審査合格、及びIMS「プレミアムステージ」合格

☆省エネルギー
電力量目標　434．4万kWh　⇒　実績　384．8万kWh

☆廃棄物の削減
廃棄物総排出量目標　1,768kg/億円　⇒　実績　1,298kg/億円

☆環境調和型製品の開発
新商品において環境自主基準適合　⇒　セルフPOS：　SS-N1シリーズ
☆資源の有効活用：前機種SS-900に対し製品重量削減
・化学物質の削減：RoHS2(特定フタル酸対応) ﾊﾛｹﾞﾝﾌﾘｰﾌﾟﾗｽﾁｯｸ及びプリント基板採用
新商品特定化学物質全廃　⇒　実績　全10シリーズ製品（ODM製品含む）
RoHS2又は旧RoHS、環境自主基準適合OK

☆全員参加・啓発活動の展開
環境月間・3R推進月間・省エネ月間による環境啓発活動、環境ニュース配布

☆地域との協調　ペットボトルキャップ寄付、プルタブ寄付、近隣幼稚園に読み聞かせ実施
（周辺地域清掃、ボランティア活動の参加はコロナ禍で中止）

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

【2023年度に開発した主な製品】

セルフ会計機

SS-N1K

《特徴》
消費者自身で商品の登録から支払いまでを行うセルフレジ、およびカートPOSなどで登録した商品の会計を行うための会計機

《省資源化》
前機種(SS-900K)に対し、製品重力8%削減　(95kg→87kg)
一部部品に再生プラスチック採用

《化学物質の管理》
RoHS2特定フタル酸対応
筐体プラスチックおよび基板にハロゲンフリー材採用

TOSHIBA

環境方針

[IMS方針]

私たちは，当社経営理念「モノ創りへのこだわりと挑戦　いつでもどこでもお客様とともに」のもと、「統合マネジメントシステム（Integrated Management System）」を構築し，継続的な改善を図ることにより，以下を推進します。

1. すべての事業活動において，法令，規制，契約上の義務，その他の要求事項を順守します。

2. 私たちはモノ創りにこだわり，確かな品質・性能と高い利便性をもつ商品サービスをタイムリーに提供し，お客様の発展に貢献します。

3. 環境に配慮したモノ創りを通して，お客様及び自社の環境負荷を低減し，環境汚染の予防に努め，持続可能な地球社会の発展に貢献します。

4. お客様と社会の信用に応えるため，事業活動全般における情報に必要なセュリティ対策を講じ，情報漏洩を防止します。

5. 「安全で快適な職場環境づくりと心身の健康保持増進」を念頭に，組織で働く全ての人々の生命・安全を最優先した事業活動を行います。

東芝テック株式会社 静岡事業所（大仁）環境基本方針

当事業所は、自然豊かな伊豆半島に位置し、富士・箱根・天城の山々を仰ぎ、狩野川の清流と文化を育む、魅力（ゆめ）ある伊豆の国市の住民と共存しています。
わたしたちは環境への取組みを、企業経営の最重要課題の一つとして位置づけ、「東芝テックグループ経営理念」のもと、人と、地球の、明日のために豊かな価値の創造と地球との共生を図り、顧客現場の課題を解決するソリューションパートナーとして脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境経営により、持続可能な社会の実現と気候変動や持続可能な消費と生産への対応などのSDGsの達成に貢献し、新しい未来を始動させます。

1. 事業と調和させた環境経営の推進
   1）事業活動、製品に関わる環境側面について、生物多様性を含む環境影響を評価し、環境負荷の低減、環境汚染の予防の保全等に関する環境目標を設定・推進します。
   2）監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図り、定期的な見直しを行います。
   3）環境に関する法律・条例及び組織として受入れを決めた要求事項、自主基準などを順守します。
   4）従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。
   5）環境方針、環境活動について広く社内外へ積極的に公開します。
   6）グローバル企業として、東芝テックグループ一体となった環境活動を推進します。

2. 事業活動での環境負荷低減と環境調和型製品の提供
   1）地球資源の有限性を認識し、事業活動、製品の両面から有効な利用、活用を促進する積極的な環境施策を展開します。
   2）ライフサイクルを通して環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品を提供します。
   3）設計、調達、製造、物流、廃棄などすべての活動段階において、気候変動への対応、資源の有効活用、化学物質の管理などの環境負荷低減に向けた施策に取り組みます。
   4）持続可能な社会の実現のため、社会に与える価値や意義を考え、将来を見据えた環境技術の開発に努めます。

3. ステークホルダーとの連携
   1）地域・社会をはじめとするさまざまなステークホルダーと積極的なコミュニケーションを図り、連携した活動を推進します。

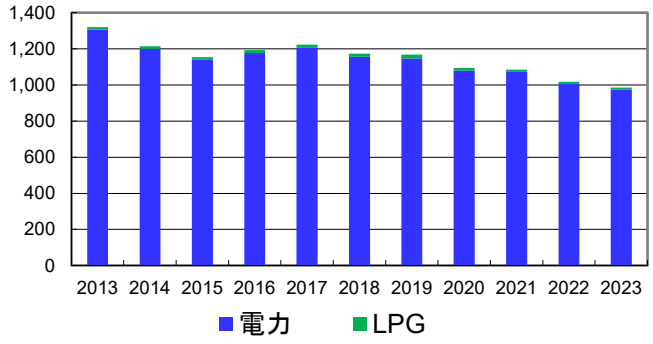
２０２４年　４月　１日
東芝テック株式会社　　静岡事業所（大仁）
事業所長　相原哲也

TOSHIBA

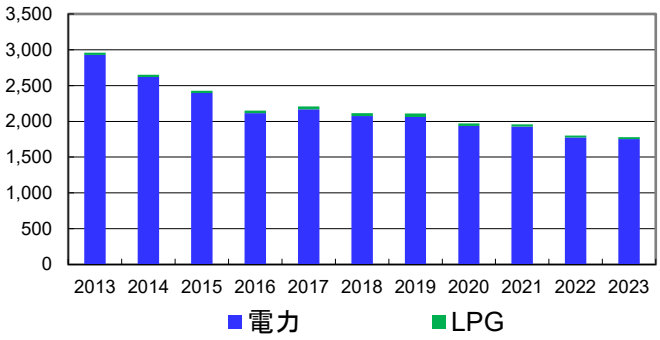
環境負荷データは
2013～2023

環境負荷データ

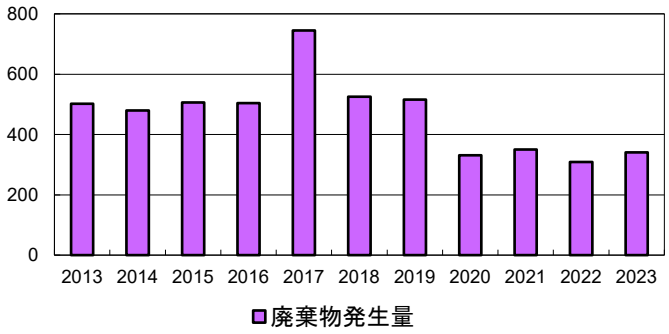
エネルギー使用量（単位：KL）



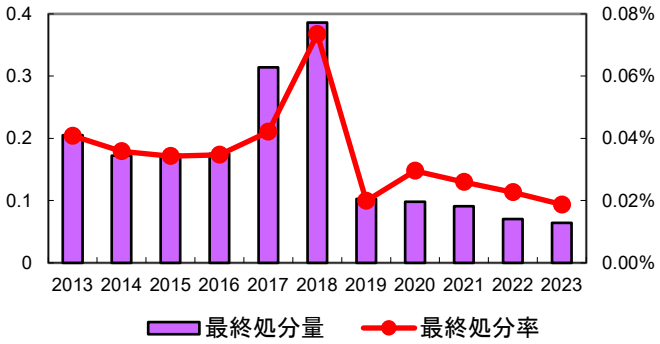
CO_2排出量（単位：トン—CO_2）



廃棄物総発生量（単位：トン）

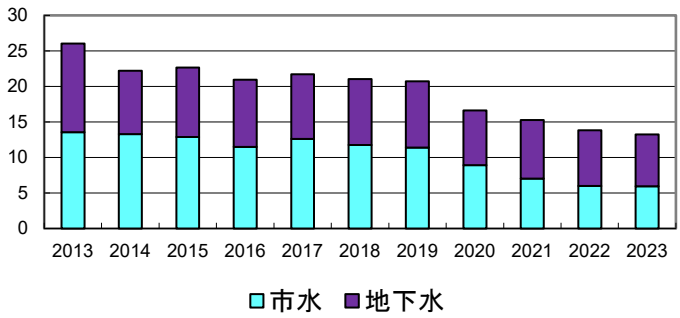


廃棄物最終処分量と最終処分率（単位：トン、%）

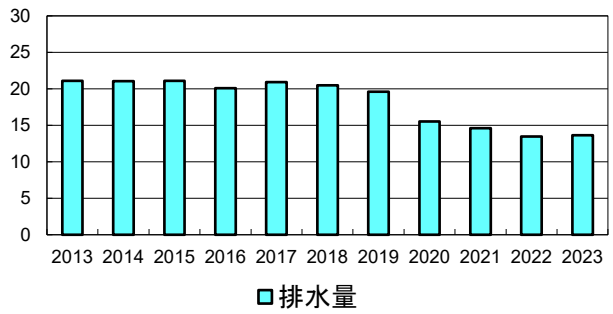


主な廃物名：プラスチック、木屑、ガラス屑、廃油等

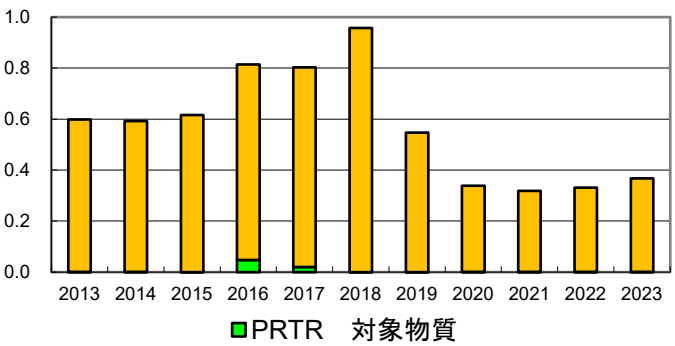
水の使用量（単位：千m^3）



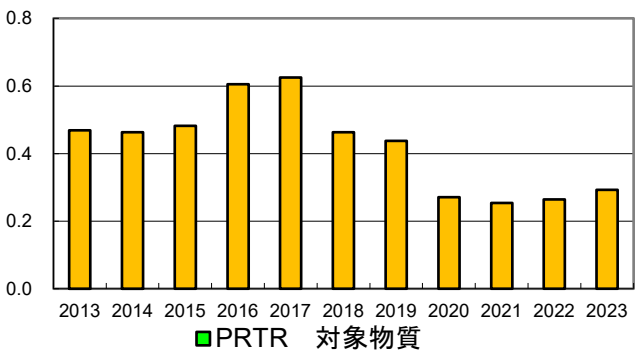
排水量（単位：千m^3）



化学物質削減対象物質の取扱量（トン）



化学物質削減対象物質の排出量（トン）



主な化学物質：エタノール

TOSHIBA

遵法管理状況

＜大気測定結果＞　特定施設無し

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
ＮＯｘ（ppm）	対象外	対象外	対象外	対象外
ＳＯｘ（Nm3/ｈ）	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん（mg/Nm3）	対象外	対象外	対象外	対象外

＜排水測定結果＞　特定施設無し（自主測定）、河川（狩野川）へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8～8.6（水濁法）	5.9～8.5	7.3	2ケ月1回
ＢＯＤ（ｍｇ／ﾘｯﾄﾙ）	最大160（平均120）	25	4.3	2ケ月1回
ＣＯＤ（ｍｇ／ﾘｯﾄﾙ）	最大160（平均120）	120	1.8	2年1回
ＳＳ（ｍｇ／ﾘｯﾄﾙ）	最大200（平均150）	40	1.3	2ケ月1回
ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ（ｍｇ／ﾘｯﾄﾙ）	5	4	＜0.5	2ケ月1回
鉛及びその化合物（ｍｇ／ﾘｯﾄﾙ）	0.1	0.08	＜0.01	2年1回

＜騒音・振動測定結果＞　特定施設　騒音：空気圧縮機施設（ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ）、振動：空気圧縮機施設（ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ）

	測定場所：時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音（dB）	敷地境界：昼	65	65	53.1	年2回
	敷地境界：夜	55	55	47.6	年2回
振動（dB）	敷地境界：昼	70	70	35.2	年1回
	敷地境界：夜	65	65	49.0	年1回

＜その他測定結果＞　（下水道法：主な測定結果）特定施設無し（自主測定）

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0～9.0	5.2～8.8	8.2	年4回
BOD（mg／ℓ）	600	550	116.2	年4回
SS（mg／ℓ）	600	550	122.1	年4回

＜環境事故・指導指摘・苦情の有無＞

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし

TOSHIBA

環境コミュニケーションの紹介

＜環境一斉アクション：プルタブ・ペットボトルキャップ寄贈＞

当事業所は社会貢献活動の一環としてプルタブを容器から分別して集積し、
それを関係団体に寄付しています。これは2回/年実施しており、今回は
世界環境デー及び国際ボランティアデーに合わせ、
プルタブを関係団体に寄付しました。
23年度では年間でプルタブ9.4kg（23．5千個）が集まりました。
又、ペットボトルキャップでは約5.8kg（18.4千個）が集まり、
これも各団体に寄付しています。
（実施概要）
・日時：2023年　6月5日　3.6kg（約9千個）
　　2023年12月5日　5.8kg（約14.5千個）
・ペットボトルキャップ寄付　随時　460kg（18.4千個）：子供ﾜｸﾁﾝ230人分/年寄付した計算

＜近隣幼稚園に読み聞かせ実施＞

当事業所では、社会貢献活動の一環として地元の
幼稚園や小学校に2011年度から読み聞かせや
農作業の手伝いをボランティアとして実施してきました。
コロナ禍ではリモートで実施した年もありましたが22年度からコ
ロナ前と同じ幼稚園に訪れて読み聞かせを実施し、23年度は
9回訪問することができ園児たちに大変喜ばれました。
（実施概要）
・日時：2023年6月5日、6日、29日、9月20日、
　11月6日、20日、1月17日AM、PM、29日　（計9回）

生物多様性の保全への取り組み

＜絶滅危惧種　三島柴胡（ミシマサイコ）の栽培と黒メダカの繁殖＞

当事業所では、生物多様性ビオトープ活動として、絶滅危惧種のミ
シマサイコの栽培に取組んでいます。
ミシマサイコは、セリ科の多年草で本州から四国・九州の日当たりの
良い山野に自生していましたが、乱獲により絶滅危惧種となっていま
す。
毎年冬季に種が多く採取できた翌年度には従業員に種を配布し、
自宅で栽培をして頂いています。
又、黒メダカの繁殖飼育もしており、従業員への癒しやお客様の工
場見学のルートにも役立てています。
22年春には卵から十数匹の稚魚が孵り、又、23年春にも13匹孵りまし
た。

従業員自宅で栽培状況

TOSHIBA

環境目標

２０２４年度のサイトの主な環境目標

推進項目	指標	2024年度目標
地球温暖化の防止	電力量	400.4万kWh以下 （19年度比88.5%） 上期207.4万kWh 下期192.7万kWh
資源の有効活用	総発生量原単位	1,558kg/億円以下 （19年度比87.2%） 上期1,596kg/億円 下期1,521kg/億円
	有価物率	65%以上
化学物質管理	環境監査対象施設のリスク低減管理	環境監査評価 「A」維持

環境中期計画

サイトの主な環境中期計画

推進項目	指標	中期計画達成年（2026年度）目標
地球温暖化の防止	電力量	391．5万kWh以下 （19年度比86.5%）
資源の有効活用	総発生量原単位	1,660kg/億円以下 （19年度比93.0%）
	有価物率	65%以上
化学物質管理	環境監査対象施設のリスク低減管理	環境監査評価 「A」維持